フォーラム

中国におけるスポーツ振興くじ公益金を活用した
“健身路経”の財源確保の仕組み[†]

何 慧 群* 原 田 和 弘**,** 中 村 好 男***

The Financial System of Sports Lottery Funding Based on
“Jian Shen Lu Jing” in China[†]

Huiqun HE*, Kazuhiro HARADA **, ** and Yoshio NAKAMURA ***

Abstract

In order to create a supportive environment for physical activity, the “Jian Shen Lu Jing (JSLJ)” has been promoted in China. A unique point of the JSLJ is that all JSLJ are funded by the Chinese sports lottery. From 1997 to 2008, a total of 11,000 JSLJ were built and about 30 billion Renminbi (RMB) from the Chinese sports lottery were invested in the JSLJ. This study aims to describe the financial system of THE JSLJ in China. According to the “National Health Promotion Plan,” income from the sports lottery should be provided for the JSLJ every year. In 12 years, a total of 10.2 billion RMB was provided to the JSLJ from the General Administration of Sports and 19.8 billion RMB from the Local Administration of Sports. The fact that the funding of the JSLJ did not increase the government’s financial burden could also be regarded as suggesting one effective way to promote physical activity among the larger population in China. In conclusion, through a comparison with Japan, the results of the present study show that funding resources of the sports lottery in China were applied to supporting the physical environment. In future studies, further identification of the maintenance of the JSLJ, and of more effective ways to utilize sports lottery to support the physical environment will be important.

Key words : Jian Shen Lu Jing (the JSLJ), Funding Source, System, Sports Lottery

1. は じ め に

筆者らが以前、本誌で報告したように、中国では“健身路経”という身体活動支援環境整備施策に取り組んでいる¹⁾²⁾。“健身路経”とは、

公園や住宅広場などに、自分の体重を負荷として利用する健康器具を設置した公共スポーツ施設である。“健身路経”は、1996年に第一カ所目が設置されてから2008年に至るまで、全国ですでに約11万カ所が整備されている。

[†]原稿受付 2011年12月20日 原稿受諾 2012年1月12日

*早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

**日本学術振興会 〒102-8471 東京都千代田区麹町5-3-1

***早稲田大学スポーツ科学学術院 〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

*Graduate School of Sport Sciences, Waseda University, 2-579-15, Mikajima, Tokorozawa, Saitama, Japan (359-1192)

**The Japan Society for the Promotion of Science, 5-3-1, Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan (102-8471)

***Faculty of Sport Sciences, Waseda University, 2-579-15, Mikajima, Tokorozawa, Saitama, Japan (359-1192)

図1 1997年～2008年の中国スポーツ振興くじ公益金額推移（単位：億元）

“健身路経”の興味深い点の1つは、スポーツ振興くじによってその財源の全てが賄われている点である。近年、より多くの人々の健康維持・増進活動に長期的な影響を与える要因として、身体活動を実施する環境に注目が集まっており³⁾⁴⁾、そうした環境を整備するための財源をいかに確保するかが重要な課題となっており、諸外国では、様々な外部資金を整備事業に取り込んでいる。例えば英国では、地方自治体の予算枠の縮小を受け、公園整備に関する財源として助成金などの外部資金をより多く活用するようになってきている⁵⁾。日本でも整備事業の立ち遅れや、財源の減少などの問題の深刻化が指摘されている⁶⁾。一方、中国では1997年より2008年に至る12年間で、全国11万カ所の“健身路経”の整備に中国スポーツ振興くじ公益金30億元（約429億円）が活用されている。

本稿では、“健身路経”の財源として中国スポーツ振興くじ公益金に着目し、全体像を把握した上で、その運用方法および運用額を概説し、身体活動支援環境整備財源としての特徴を紹介する。なお、次セクション以降、中国スポーツ振興くじ公益金を単に公益金と呼ぶこととする。

2. 中国におけるスポーツ振興くじ公益金の概要

2.1 公益金の由来

市場経済の導入に伴い、国務院の承認のもと1994年にスポーツ事業推進を目的としたスポーツ振興くじの販売が全国で開始され、収益金（公益金）をスポーツ関連事業の助成金に充てるという事業が始まった。翌年に国務院から公布された「全国健康づくり計画綱領」や中国国家体育总局（元の状態体育委員会）によって公布された「オリンピック競技計画綱領」を受けて、1998年には公益金の運用方針に関する規定である「スポーツ振興くじ公益金管理暫定規定」（以下、暫定規定）が、国家体育总局、政府財政部、中国人民銀行によって共同公布された。この公布によって、公益金の配分や使途が規範化、法制化された。

2.2 公益金の仕組み及び金額の推移

中国におけるスポーツ振興くじには、サッカー試合の勝敗を当てるサッカーくじ、「頂呱刮」と呼ばれるインスタントくじ、および数字を当てるランダムくじの3種類があり、全国の売り場で販売されている。公益金に充てられる金額は、スポーツ振興くじの総売上金額から、一定割合の「当せん払戻金」（50%）と「運営費」（20%）を差し引いた残りの30%に相当する額

図2 中国における公益金の配分仕組み及び運用割合

とされている。

中国スポーツ振興くじが販売開始されて以来、このくじの売上金額は毎年増加していき、2008年にはくじの総売上累計は2,383億元（約3.4兆円）に達した（換算為替レートは14.3円／元とした）。それに伴い、公益金額は、1997年の4.5億元から2008年の137億元に増加し、12年間の合計は771億元（約1.1兆円）にのぼった（図1）。

2.3 公益金運用の仕組み及び運用内訳

公益金運用の仕組みに関して、売り場から上がるスポーツ振興くじの総売上は各地方体育局に納入された後、その一定割合が公益金として中央財政部専用基金口座に収納される。さらにそれが、中央財政公益金および地方財政公益金に50%ずつで2等分される。中央財政公益金50%のうち45%は国庫に納入され、残りの5%

図3 “健身路経”への国家体育总局スポーツ振興くじ公益金使用金額（1997～2008）（単位：億元）

が国家体育总局へ配分される。それに対して、地方財政公益金は、地方財政行政機関と地方体育局との相談の上、スポーツ振興を図る専用基金として原則的に全額が地方体育局へ支給されるものと規定されている⁷⁾（図2）。体育行政機関（国家体育总局と地方体育局）に配分された公益金は、「全国民健康づくり計画の展開、大規模スポーツ大会運営費に対する補助、スポーツ施設の整備・修繕およびスポーツ貧困地域への援助」を実施する際に必要となる資金としての役割を担っており、「全民健身計画」（60%）と「奧運争光計画」（40%）へ運用されている⁸⁾。主な助成事業は、「全民健身計画」では“全民健身体工程”（“健身路経”，“雪炭工程”，“農民体育健身工程”），大衆スポーツ団体の設立・社会体育指導員の育成，大衆健康促進行事や大衆運動大会の展開，国民健康増進に関する科学研究および健康づくりの知識や方法に関する宣伝および「スポーツ貧困援助工程」であり，「奧運争光計画」では，国内での大規模国際・国内スポーツ大会開催経費，国家チームのコーチおよび選手訓練経費，大規模競技スポーツ大会施設と体育館の整備，国家チーム訓練基地施設の整備・修繕および国家チーム訓練器具購入，スポーツ予備人材の育成や訓練基地の整備となっている。“健身路経”は全民健身計画の重要な構成要素であり，全民健身計画へ調達された公

益金より，毎年一定的な金額を財源として“健身路経”整備への支給を確保している。

3. “健身路経”への公益金運用実績

1997年から2008年の間に，国家体育总局と地方体育局を併せた30億元の公益金（約429億円）が11万カ所の“健身路経”整備に投入された⁹⁾。これは累計771億元（約1.1兆円）の総公益金のうち，3.9%に相当する金額であった。その内訳に関して図3をみると，国家体育总局によって“健身路経”整備のために運用された分は，初年の0.53億元（7.6億円）から，2002年の1.32億元（約19億円）のピークを経て，2008年には0.87億元になり，12年間の累計で10.2億元（146億円），年平均0.85億元（約12億円）地域毎3,290万元（約4.7億円）（31行政区とする）となる。ことが，国家体育总局より明らかにされた。それをもとに推定すると，各地方体育局による“健身路経”への総運用金額は19.8億元であり，年平均1.65億元（約23.6億円）で地域毎6,387万元（約9.1億円）であると考えられる。

4. 考察

本稿では，中国での健康づくり政策の一環として，公園や広場で健康遊具が設置されている“健身路経”の財源について概説した。財源の観点から見た“健身路経”の特徴として，次の

2点が挙げられる。

4.1 財政に負担をかけない財源である

中国では、図3に示すように、スポーツ振興くじの金額によらず、毎年一定額を“健身路経”整備に充てている。日本でも、“健身路経”と類似した健康遊器具設置施設が存在しているが、整備の財源に関しては、国庫補助金に依存するケースが多い。国土交通省が2005年に実施した、全国の都市公園等における遊戯施設の設置状況や安全点検の実施状況等に関する調査¹⁰⁾によると、2005年までに都市公園及びその他の公園に設置されている遊具の総数は432,387基であり、前回(平成13年)調査時より3.2%増となった¹⁰⁾。しかし、整備に関する財源は、国家補助金・自治体の予算で措置しているため、財政へ負担をかけていることは事実である。例えば、兵庫県川西市は限られた財源を有効に活用するために、「未来を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくり」や「市民の安全・安心の確保」などに重点を置き、平成21年度一般会計補正予算(第2回)により48基の公園遊具新設に3,360万円の支給対策を行っている¹¹⁾。また、秋田市の「平成21年度当初予算の概要」では、遊具施設更新・予防修繕を含む公園遊具施設長寿命化等整備事業(都市整備部)に2,607万円の予算を立てた事例¹²⁾や、富山県氷見市では、平成23年度9月補正予算により「安心子ども基金推進事業費補助金」を活用して公園遊器具の新設・更新・修繕を行っている事例¹³⁾もあるが、地方への補助金は減る傾向にあるため、日本における健康遊器具整備に関しては、財源の厳しさが課題である。一方、「国民から取り、国民に還元する」を趣旨とする中国スポーツ振興くじ公益金を活用した“健身路経”は、健康促進を図る身体活動支援環境の財政確保に関してユニークな取組みであるといえる。

4.2 健康づくりを目的とした身体活動支援環境整備への運用

北京、武漢市、黒龍江省および粵北地区(広

東省北部)における“健身路経”の利用目的についての先行研究によると、健康増進を目的とする利用者の割合は、全利用者のうち40.2%から55.7%である¹⁴⁾⁻¹⁷⁾。また、利用者のうち、週3回以上利用する者の割合は23%から84%、1回につき30分以上利用する者の割合は47%から89%と報告されている¹⁴⁾¹⁶⁾¹⁸⁾。これらの研究から、“健身路経”は、身体活動の推進と健康増進への恩恵を与える身体活動支援環境としての役割を果たしているといえよう。従って、中国におけるスポーツ振興くじ公益金は、健康づくり事業への積極的かつ明確な運用を通じて、身体活動支援環境の整備に役立てられているといえる。

一方、日本では、スポーツ振興くじ(toto)の実施により得られた収益金のうち、3分の1は国庫に納付されて教育や文化の振興などに充てられ、3分の2はスポーツ振興を目的とする事業の資金とされている¹⁹⁾。スポーツ振興に関する具体的な助成事業内容は、①地域スポーツ施設整備助成、②地方公共団体スポーツ活動助成、③スポーツ団体スポーツ活動助成、④総合地域スポーツクラブ活動助成、⑤将来性を有する競技者の発掘育成助成、⑥国際競技大会開催助成となっており²⁰⁾、日本のスポーツ振興くじの収益金は、スポーツ団体と地方公共団体に交付され、競技スポーツ関連の活動を中心に助成されている。なお、助成金交付の実施に関して必要な事項を定める「スポーツ振興くじ助成金交付実施要領」では、スポーツ施設等整備事業について、「地域住民にとって、身近で楽しく安全にスポーツ活動に親しむことができるように整備されるものである」と掲げているが、平成文部科学省から示された「スポーツ振興投票の収益による助成の基本方針」において、「スポーツ施設の整備に係る助成」に関しては、「総合型地域スポーツクラブの活動に資する施設をはじめ、これまでの助成事業では対象とされていなかった地域の身近なスポーツ施設(クラブハウスの新設・改修、グラウンドの芝生化、夜間照明施設整備)を中心として助成する」と定

められた²¹⁾。つまり、日本のスポーツ振興くじ収益金に関しては、公園健康遊器具など健康づくりを目的とした身体活動環境の整備に対する支援とは言及されてない。今後、日本のスポーツ振興くじの助成金運用には、健康づくりを目的とした、より幅広い身体活動環境の整備を助成対象として考慮すべきである。

5. まとめと展望

本稿では、中国で普及されている“健身路経”の財源である公益金に関する概要及び“健身路経”の整備への運用仕組みと運用実績を明らかにした。公益金は財政に負担をかけない財源であり、積極的な健康づくりを目的とした身体活動支援環境の整備へ運用されていると考えられる。

本稿で得られた知見を踏まえ、“健身路経”整備のみならず、スポーツ振興くじ公益金が“健身路経”の維持管理へ有効に活用されるのかや、住宅地や公園、川沿いなどにある歩きやすい歩道などのより幅広い身体活動支援環境の整備へ如何に運用されるのかについて、今後の課題として注目していく必要がある。

参 考 文 献

- 1) 李 志方, 他:「我国全民健身路経工程建設思考」(我が国全国全民健身路経工程建設について考察), 体育文化導刊, Vol.4, pp.17-19, 2009.
- 2) 何 慧群:中国におけるスポーツ振興くじ公益金を活用した“健身路経”の事例, スポーツ産業学研究, Vol.22, No.1, 印刷中, 2012
- 3) 原田和弘, 他:身体活動と環境要因に関する研究の考え方とその動向, スポーツ産業学研究, Vol.21, No.1, pp.1-7, 2011.
- 4) 石井香織, 他:日本人成人を対象にした身体活動支援環境に関する研究の動向, スポーツ産業研究, Vol.20, No.1, pp.1-7, 2010.
- 5) 坂井 文:英国の国営宝くじ基金に見る公園の整備及び再整備に関する財源確保の手法, ランドスケープ研究, Vol.71, No.5, pp.723-726, 2008.
- 6) 春名 攻, 他:都市開発・整備のための新たな財源調達・運営システムの実現可能性に関する研究, 土木情報利用技術講演集 Vol.29, pp.25-28, 2004.
- 7) 財政部:「財政部関于印發《彩票公益金管理辦法》的通知」(財政部《スポーツ振興くじ公益金管理辦法》に関する通知), 財政部財綜[2007]83号.
- 8) 国家体育総局・財政部・中国人民銀行:「体育彩票公益金暫行管理辦法」(スポーツ振興くじ公益金暫時管理方案) 1998年9月1日.
<http://gkml.sport.gov.cn:8080/gips/contentSearch?id=1292785>, 2011年2月8日アクセス.
- 9) 「劉鵬局長中国国家体育総局工作報告」:中国国務院新聞発表会, 2009年6月20日.
- 10) 国土交通省:都市公園における遊戯施設の安全管理に関する調査の集計概要について, http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/04/041209_.html, 2011年12月15日アクセス.
- 11) 川西市公式サイト:国の経済危機対策に伴う一般会計補正予算の概要, <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gyozaisei/007466.html>, 2011年12月15日アクセス.
- 12) 秋田市都市整備部関係:平成21年度当初予算の概要, 平成21年4月, <http://www.city.akita.akita.jp/city/fn/mn/toushoyosann21.pdf>, 2011年11月18日アクセス.
- 13) 氷見市公式サイト:平成23年度9月補正予算の概要について, <http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000001100/hpg000001058.htm>, 2011年12月17日アクセス.
- 14) 董鵬:「北京全民健身路経使用状況調査」(北京における“全民健身路経”使用状況に関する調査), 中国体育科技, Vol.39, No.1, pp.40-42, 2003.
- 15) 魯家政:「武漢市全民健身路経使用情况分析」(武漢市における“全民健身路経”の使用状況に関する分析), 湖北体育科技, Vol.25, No.3, pp.348-350, 2006.
- 16) 王誠民:「黑龍江省全民健身路経使用現状の調査」(黑龍江省における“全民健身路経”の使用状況に関する調査) 高師理科学刊, Vol.26, No.3, pp.83-85, 2006.
- 17) 羅炯:「粵北地区居民对全民健身路経的使用現状分析」(粵北地区住民における“全民健身路経”の使用現状に関する分析) 中国体育科技, Vol.42, No.6, pp.57-61, 2006.

- 18) 張偉：「山西省临汾城区全民健身路経使用現状調査」(山西省临汾市における“全民健身路経”使用現状に関する調査), 山西師大体育学院学报, Vol.23, No.4, pp.37-39, 2008.
- 19) BIGトップページ；スポーツ振興くじの収益金の使いみち, <http://www.toto-dream.com/support/profits.html> ; 2011年8月9日アクセス.
- 20) 独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱；平成15年度要綱第18号, 平成15年11月4日.
- 21) スポーツ振興投票の収益による助成の基本方針；文部科学大臣決定, 平成13年11月15日.